

2011年度第1四半期決算 IR説明会



2011年8月3日

日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



代表取締役 会長執行役員

細川 知正



- 震災の影響と今後の見通しについて
- 7月24日地デジ完全移行について

代表取締役 社長執行役員

大久保 好男



■ 連結、単体ともに減収減益

震災影響出たが想定上回るペースで回復

⇒ 通期 連結営業利益予想を272億に修正

■ 「スポット収入」はいち早く復調

■ 「タイム収入」はW杯反動減があるものの、 レギュラー番組が前期比プラスに転じる

■ 制作費コントロール(抑制)の継続

決算概況

取締役 常務執行役員

能勢 康弘



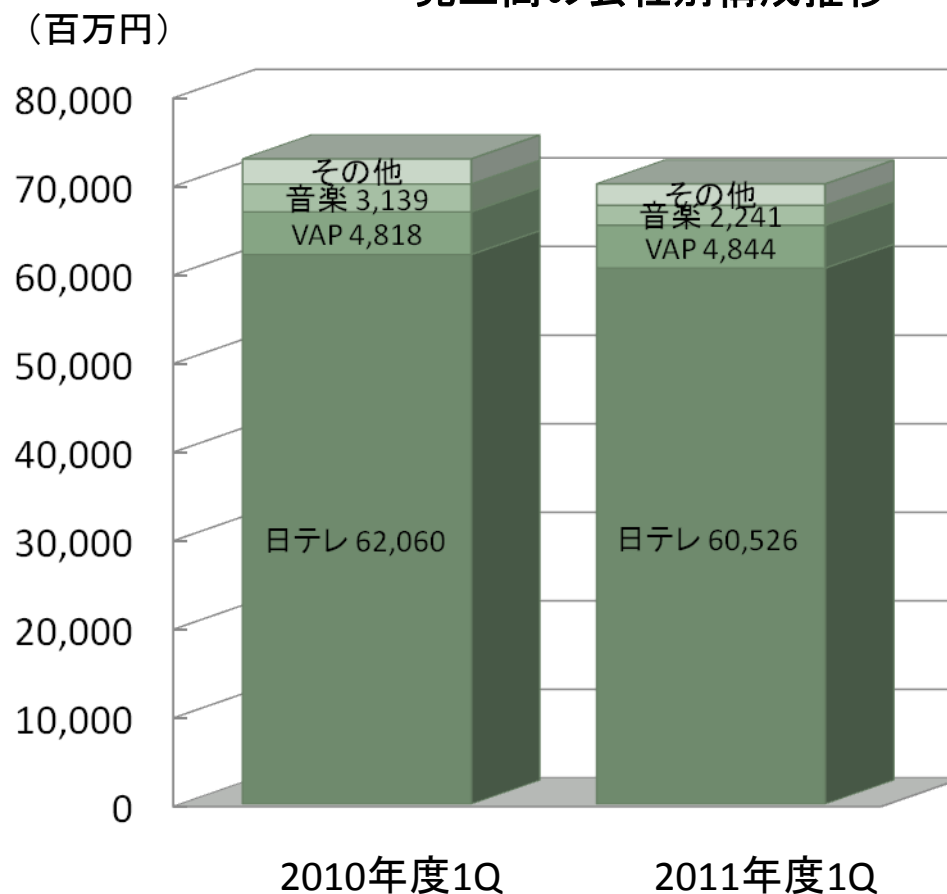
連結 売上高



連結売上高	(百万円)
2010年度 1Q (2010年4月-6月)	72,854
2011年度 1Q (2011年4月-6月)	70,022 ($\Delta 3.9\%$)

- 減収(前期比 $\Delta 2,832$ 百万円)
- 日本テレビ単体減収が大きく影響
- VAP微増収も日本テレビ音楽が減収

売上高の会社別構成推移



連結 営業利益分析



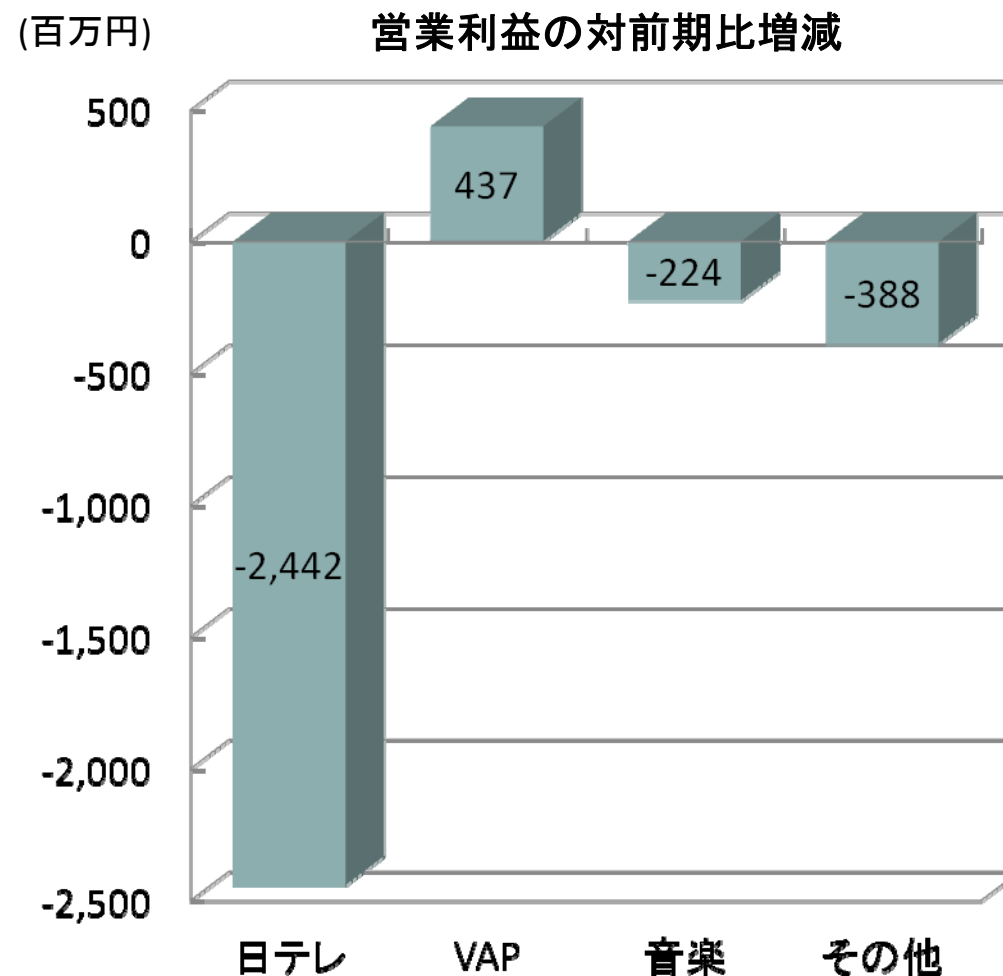
連結営業利益	(百万円)
2010年度 1Q (2010年4月-6月)	8,146
2011年度 1Q (2011年4月-6月)	5,527 ($\Delta 32.1\%$)

■VAP

MG償却減少、制作費削減で、
1.8億黒字化(前期 $\Delta 2.6$ 億)
⇒4.3億の改善

■日本テレビ音楽

前期あった「ルパン三世」
商品化権収入の反動減で、
営業利益2.2億減少し3.7億に

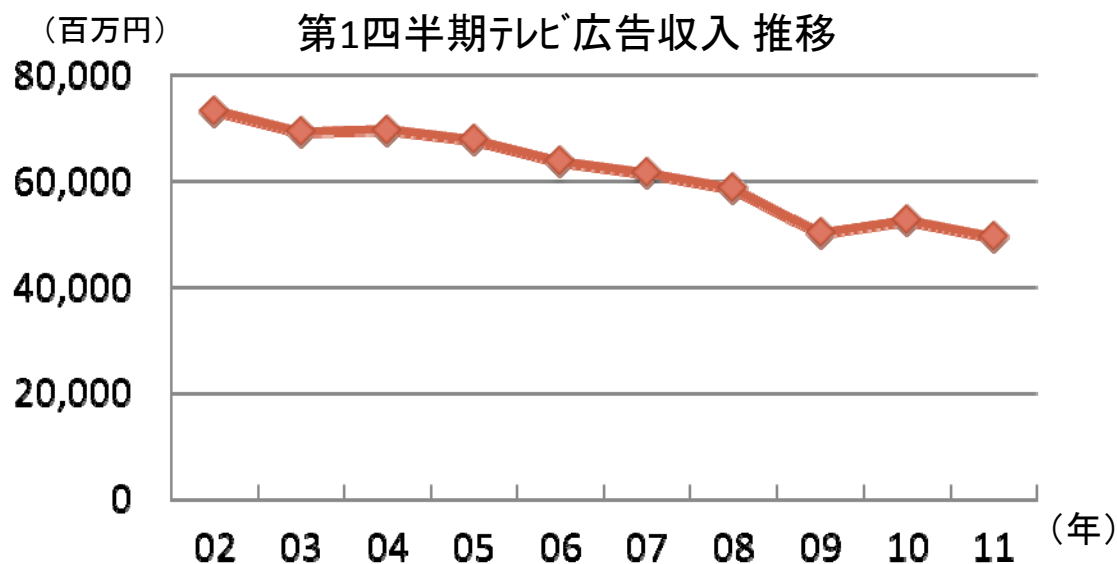
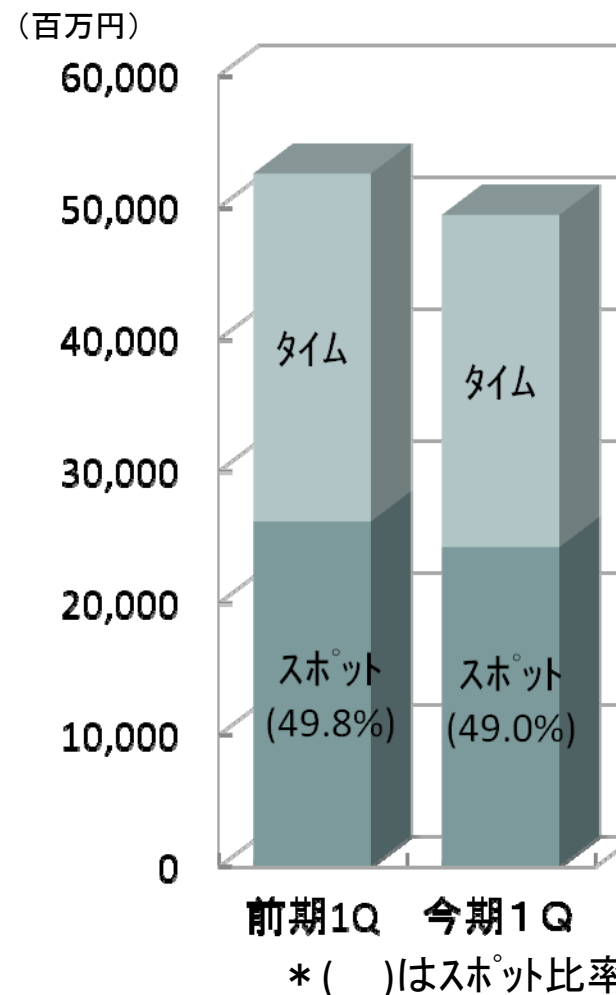


テレビ広告収入－単体－



(百万円)

	2010年度 1Q	2011年度 1Q	比較	増減率 (%)
テレビ 広告収入	52,519	49,374	△3,144	△6.0
タイム	26,383	25,189	△1,193	△4.5
スポット	26,136	24,185	△1,951	△7.5

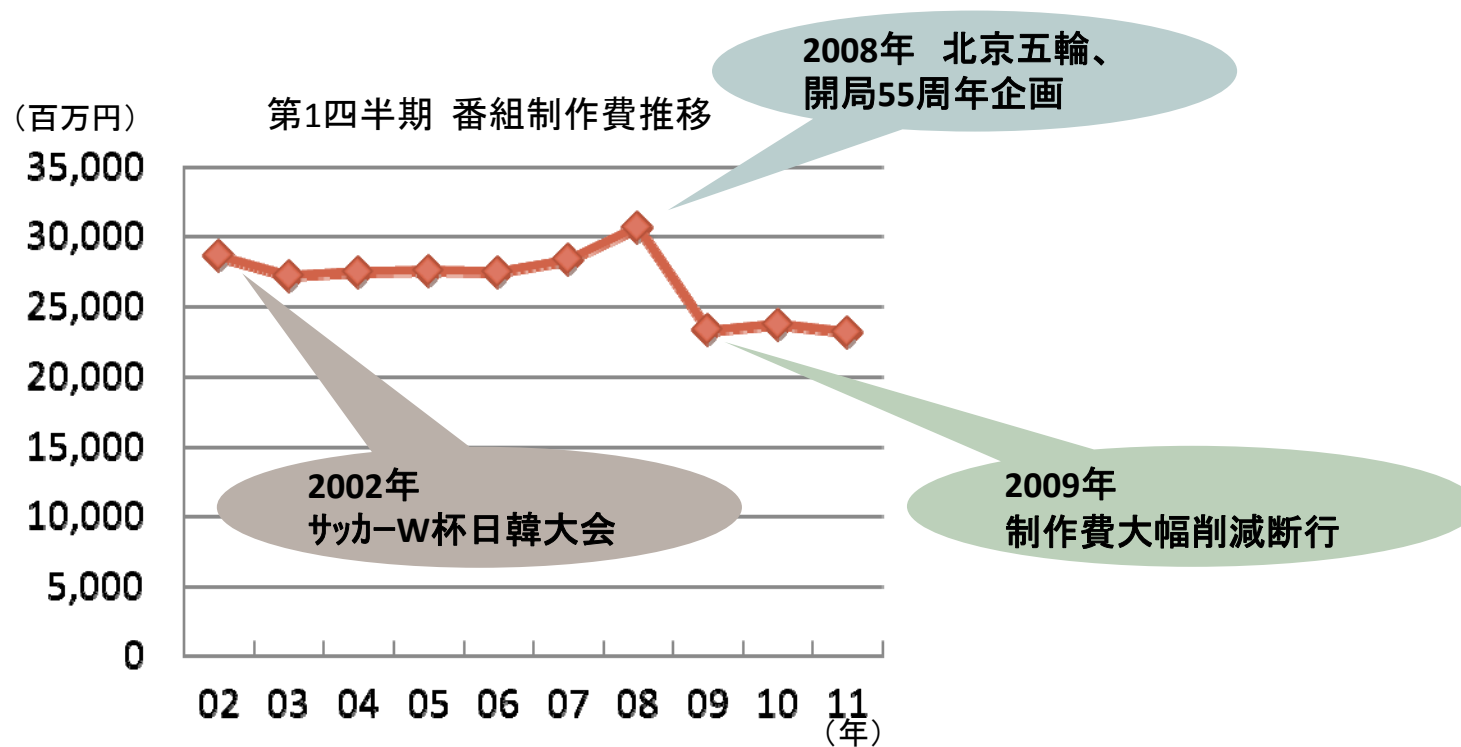


番組制作費—単体—



(百万円)

2010年度 1Q	2011年度 1Q	比較	増減率 (%)
23,671	23,125	△546	△2.3



事業収支



2011年度第1四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入		費用	
	2010年度1Q	2011年度1Q	2010年度1Q	2011年度1Q
イベント	1,374	1,267	1,154	1,096
BS、CS、CATV	1,198	1,350	639	706
ライツ(国内)	558	603	118	310
ライツ(海外)	156	103	51	40
通販	2,388	2,570	2,137	2,438
出版	133	105	121	115
映画	1,160	2,095	884	2,083
その他	466	299	544	440
合計	7,433	8,392	5,648	7,228

業績予想と前提



2011年度業績予想（* 今回修正しました）

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結(通期)	297,000	27,200	31,500	17,000
(上期)	141,300	7,700	10,300	5,000
単体(通期)	259,500	22,900	24,900	12,600
(上期)	123,500	5,800	7,300	3,000

単体テレビ広告収入と制作費の前提（* 前回予想は2011年5月時点）

	上期		下期		通期	
	前回予想	今回	前回予想	今回	前回予想	今回
(前年同期比)						
テレビ広告収入	△4.6%	△3.2%	△0.8%	0.2%	△2.7%	△1.5%
タイム	△3.2%	△2.5%	△2.0%	0.3%	△2.6%	△1.1%
スポット	△6.1%	△4.0%	0.3%	0.0%	△2.7%	△1.9%
制作費	△0.8%	△0.8%	2.3%	2.7%	0.7%	0.9%



次頁から
補足資料です

営業 —タイム—



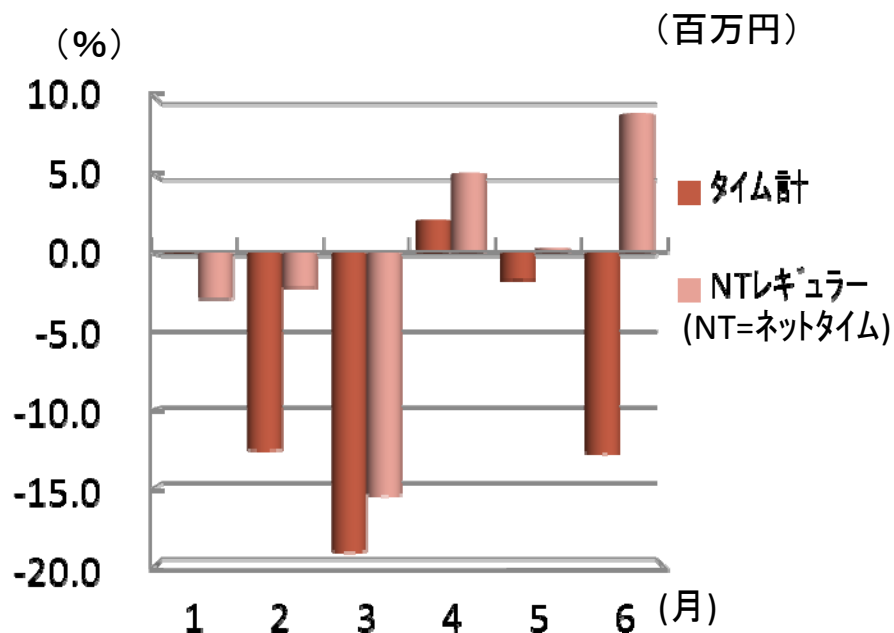
タイム	2010年度1Q	2011年度1Q
4月	△7.4%	2.1%
5月	△5.7%	△1.7%
6月	6.2%	△12.8%
1Q収入	26,383	25,189

2011年度1Q まとめ

- 震災で単発番組セールスに影響出たが、レギュラー番組セールスはほぼ想定通り

今期(今後)の見通し

- レギュラー番組は9月まで完売のため2Qトレンドは1Qと変わらず
 - ∴ その中で単発番組セールスの上積み目指す
- ことしはCWC(クラブワールドカップ)が東京開催
 - ∴ 下期の増収要素に
- 10月改編セールスにおいてもG・P帯は好調持続
 - ∴ レギュラー番組セールスは前年並カロリー達成可能



営業 – スポット –



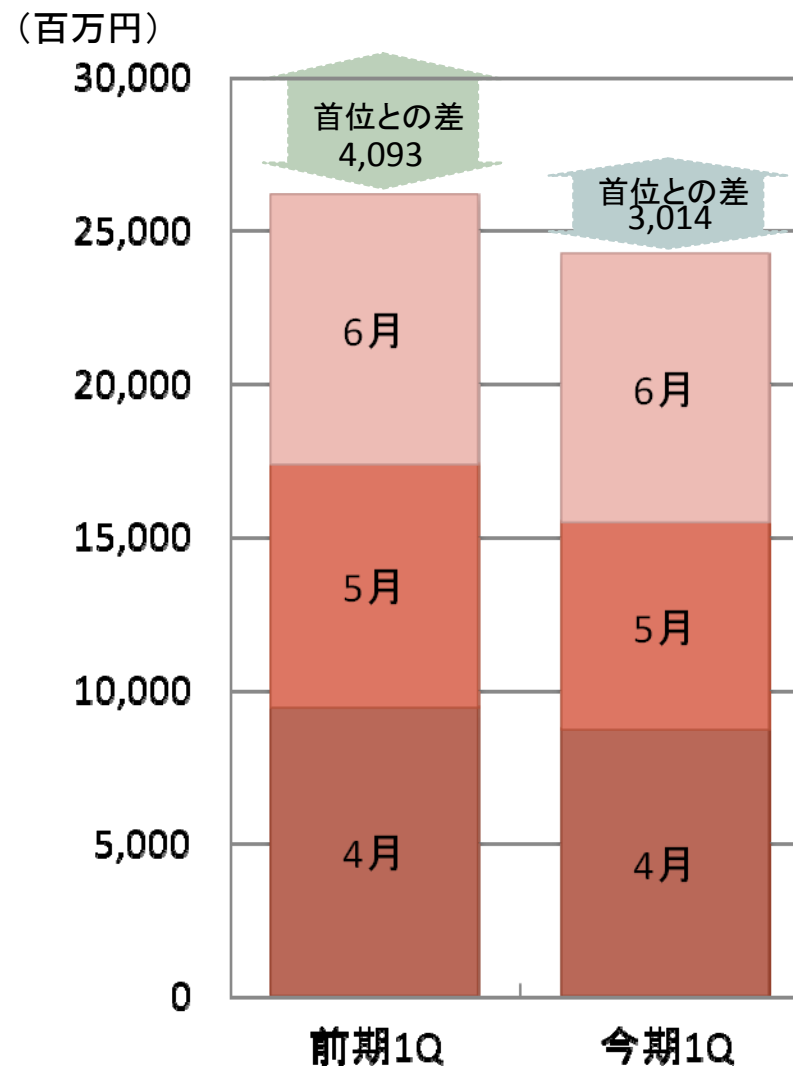
スポット	2010年度1Q	2011年度1Q
4月	15.6%	△7.6%
5月	15.3%	△15.0%
6月	8.7%	△0.5%
1Q収入	26,136	24,185

スポットまとめ

- 震災の影響で減収に
- 今期1Qシェア25.3%(前期比+0.5ポイント)
 ※3四半期連続25%超、1Qシェア25%超は8年ぶり

市況環境と今後の見通し

- 2Qは前年並を目標、市況環境も前年同程度か
- 今後は自動車、化粧品・トイレタリー、家電・AVの出稿期待



スポット業種別売上シェア



	2011年度 1Q	シェア	増減率 (%)	2010年度 1Q	シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	15.8	△ 0.7	化粧品・トイレタリー	14.7	55.9
2	運輸・通信	8.4	△ 3.6	アルコール飲料	7.7	△ 1.0
3	薬品	8.3	12.2	電気機器	6.9	2.2
4	電気機器	7.1	△ 6.3	薬品	6.8	△ 13.3
5	非アルコール飲料	6.1	△ 6.5	運輸・通信	6.6	31.8
6	アルコール飲料	6.1	△ 26.8	輸送機器	6.5	23.3
7	映画・演劇興行	5.3	5.5	非アルコール飲料	6.1	△ 0.7
8	卸売・百貨店	5.0	30.2	サービス	5.4	7.8
9	食品<乳製品調味料>	4.3	△ 23.0	食品<乳製品調味料>	5.1	3.1
10	サービス	4.2	△ 3.5	映画・演劇興行	4.6	2.5
	その他	29.5	△ 7.5	その他	29.5	14.9
	合計	100.0		合計	100.0	

設備投資と減価償却



(億円)

2011年度 1Q	設備投資額	減価償却費
連結	7	18
単体	6	16

2011年度予想	設備投資額	減価償却費
連結	85	83
単体	79	75

* 通期は前回予想据え置き

セグメント別ー実績と予想ー



(百万円)

1Q実績	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	68,806	1,865	473	△1,122	70,022
営業費用	63,640	1,437	539	△1,122	64,494
営業利益	5,166	427	△66	—	5,527

通期予想	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	291,800	6,900	2,800	△4,500	297,000
営業費用	266,300	5,160	2,840	△4,500	269,800
営業利益	25,500	1,740	△40	0	27,200

上期予想	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	138,400	3,600	1,700	△2,400	141,300
営業費用	131,540	2,710	1,750	△2,400	133,600
営業利益	6,860	890	△50	0	7,700

2011年度 日テレ映画ラインナップ



公開日	作品名	配給	備考
7/2	それいけ！アンパンマン すくえ！コリンと奇跡の星	東京 テアトル	エネルギー不足に悩む星のために立ち上がった少年をアンパンマンは救えるか？映画シリーズ第23弾
7/16	コリコ坂から	東宝	企画/脚本・宮崎駿、監督・宮崎吾朗。1963年の横浜が舞台。高校生の群像を爽やかに描く
10/1	DOG × POLICE ～純白の絆～	東宝	警察官(市原隼人)と警視庁に実在の警察犬が活躍する警察アクションエンターテインメント
11/5	カイジ2 人生奪回ゲーム	東宝	2009年公開「カイジ 人生逆転ゲーム」の続編。仲間達の運命をかけて巨大パチンコ「沼」に挑む
11/26	映画 怪物くん	東宝	大野智(「嵐」)主演の人気土曜ドラマ映画化。怪物くんが伝説の勇者に間違われ……。3D上映
1/21	ALWAYS 三丁目の夕日'64	東宝	大ヒットシリーズ第3弾。1964年、五輪を控えた東京が舞台。おなじみの面々はどうなった？3D上映
2月	逆転裁判(仮)	東宝	主演:成宮寛貴。女性に人気のゲームソフトを三池崇史監督が実写映画化

通販事業



2011年度第1四半期 収入・収支

	2010年度 1Q	2011年度1Q
収入	2,388	2,570
収支(利益)	250	132

(百万円)

■ 増収を達成

- 震災の影響、冷え込む流通業界、厳しい環境下で前年超えを達成
- 特別番組が絶好調
- 震災以降、商品ラインナップを急きょ変更し、想定を上回るペースで売上回復

■ 4~6月の特別番組

- 4/23「久本印でお買い上げ」受注3.3億
- 5/29「行列のできる通販王第6弾」受注16.47億(特番歴代最高額)
- 6/25「みのもんた特番第2弾」受注5.8億

日テレ通販 今期1Q売上ベスト5



①no!no! HAIR SMART(美容雑貨)



②MAXX NEW YORK牛革2WAYホーホーバッグ



③ジーニー インスタントラインスモーター(化粧下地)



④ダイソン DC22タービンヘッドDC26(掃除機)



⑤ポータブルカーナビ ニュートライウインポケット

10月期番組改編について



■ 改編テーマ

4月改編の成果を確実に導くG・P帯トップ奪還 ⇨ 4月改編の補強、フロー強化

■ 改編のポイント

○ 4月改編のベルト番組の強化 ⇨ 「ZIP!」、「ヒルナンデス」

「ZIP!」

- C層、T層、F2層に支持 ⇨ さらに支持層を拡大
- 「働くF層」に訴求する新コーナー検討
- デジタルコンテンツ展開の更なる強化

「ヒルナンデス」

- F1層を中心にコア視聴率も伸びている
- 視聴者の知りたい情報をより大切に！番組独自のロケで楽しく情報を提供
- バラエティ番組と情報番組を融合した総合エンターテインメント番組を目指す